



昭和61年度指定 高指第56号

# (故) 舘 善 一

生年／大正7年 指定技術名／漆器・木地(削り)



にしゃくたいかしき

## 二尺鯛菓子器

手削りにて鯛形に輪郭を形づくり、鯛の表現は切り込み、間すき、肉付けなどの技術を駆使して彫刻される。凹部分には古味が入ることで立体感をさらに強まり、さながら生命感がみなぎる鯛の生き造りの趣がある。木地には桂・朴材などを一年以上かけて乾燥させたものが用いられる。

平成8年作 素材・技法／桂・削り 寸法／高さ17cm×幅58cm×奥行32cm

### [表彰・受賞歴]

- 昭和45年 富山県漆器新作展知事賞(以後、2回)
- 昭和51年 高岡伝統工芸加工技術振興展優秀賞(以後、最優秀賞2回)
- 富山県漆器商工協同組合表彰
- 昭和52年 高岡漆器新作展高岡漆器商業部会長賞(以後、3回)
- 昭和53年 全国漆器展中小企業庁官賞(以後、1回)
- 昭和61年 社団法人日本漆工協会表彰
- 平成元年 日本漆器協同組合連合会表彰
- 平成 2年 伝統的工芸品産業功労者表彰(中部通産局長)
- 平成 5年 富山県功労表彰
- 平成 6年 勲七等青色桐葉章
- 平成 9年 高岡市市民功労者表彰
- 平成10年 日本伝統工芸士会表彰

### [経歴]

- 昭和 7年 小学校卒業後、漆器木地師の正和鉦三氏に弟子入りし削り木地の基礎を習得
- 昭和52年 伝統工芸士に認定  
高岡漆器伝統工芸士会理事
- 昭和62年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定
- 平成元年 高岡漆器伝統工芸士会副会長
- 平成 4年 高岡漆器伝統工芸士会会長